

長門市ケーブルテレビ放送番組審議会（令和6年3月25日）

放送番組審議会では、特別番組「北浦地方のサバー送り つなげ伝統のバトン」「ほっちゃん NEWS イブニング」を視聴し意見聴取しました。

●各委員からのご意見

特別番組「北浦地方のサバー送り つなげ伝統のバトン」について

- ・特別番組で扱うテーマは、どのように選定しているのか
- ・サバー送りなど地域の伝統行事を取り上げることは、地域に密着するテレビ局らしくとても良い企画。
- ・サバー送りの神事の映像が傾いていたので勿体ない。他に音響効果やテロップなど工夫があるとより良い。年配の方だけでなく、子どもたちなど様々な方にインタビューしているのは良かった。また、子どもたちに伝統が引き継がれている姿が観られて良かった。サバー送りを最後まで密着取材していて、貴重な映像資料になり、素晴らしい企画である。

「ほっちゃん NEWS イブニング」について

- ・アルク長門店開店のニュースは、パンを使いすぎていて観ていて疲れる、カットでつなげられる様に撮影したほうがよい
- ・キャトルステーションながとのニュースは、普段の生活では畜産に馴染みがないため、こういうニュースを取り上げてもらえる事は非常に有難い

●その他の番組等のご意見

- ・飲食店舗を紹介する番組があるが、画面に店舗のQRコードを表示してはどうか。また、地域経済の活性化という観点で宿泊施設なども取り上げることはできないか。
- ・子どもたちに防災を学んでもらう活動をしている。地域を見渡しても防災に対する危機感がなく懸念している。防災をテーマに定期的に放送できないか。
- ・特殊詐欺が発生している、警察などと協力して放送で注意喚起などしてはどうか。
- ・ニューススポーツや大会なども取り上げてもらいたい。放送を通じて、スポーツへの参加促進や健康づくりなどに繋がる。
- ・今後、部活動が地域移行するが、移行後も引き続き生徒達の活動の様子を取り上げていただきたい
- ・テレビ画面に時刻表示があれば、時計代わり番組を点けておく人が増え、視聴率の上昇に効果があるのでは。
- ・自治会の存在感が薄れてきておりその辺りを取り上げていただくと良いと思う。また、高齢者は寂しく楽しみが少なくなっている。子どもたちや孫などの映像を増やすと喜ばれると思う。

審議会は、赤川委員、荒川委員、池永委員、上野委員、佐藤委員、松永委員、山近委員、市からデジタル戦略課 山田課長、松岡、ながとテレビ株式会社から森重センター長、萩原課長が出席しました。